



府省名	経済産業省	部署名	通商政策局
<b>取組のポイント</b>			
<p>多くの職員が出張業務等のロジ業務に忙殺されている状況を受け、働き方改革の取組を推進。局内全職員との面談等により不満・改善要望を集約した上で、課室横断的な業務改革チームを編成し、出張業務におけるロジブックのスリム化・手続きの見直しや、コミュニケーションツールの積極的な活用による総括業務の改善を実現し、業務負担は大きく軽減。あわせて、管理職や有識者による勉強会といったスキルアップのための取組を実施し、若手のモチベーションが向上。</p>			
<b>取組概要</b>			
<p><b>【取組の背景】</b> 局内の職員の多くが出張業務等の「ロジ業務」に忙殺され、本来検討すべき通商戦略立案・政策検討といった「サブ業務」に割く余裕がなく、現在の業務負担に不満を持つ局員が非常に多い中、このままでは通商政策の質自体の低下が懸念されることから、局を挙げて単なる業務改善に留まらない働き方改革に取り組んだ。</p> <p><b>【取組の内容】</b> 1 意見集約 総務課が局内全職員と面談。匿名投稿アプリも活用。 2 会議体 業務改善チーム(総務課長を長とする)を設立し定例会で進捗報告。局内情報共有のため総括係長会議を設立し週1回開催し業務改善チームと連携。 3 取組 (1)出張ロジ改善: ・大臣出張ロジブックの抜本改訂 ・通商政策局大臣付主任イニシアティブ:出張ごとの反省会で知見蓄積、事前の調整業務(フライト予約等)を主任が一括担当し効率化 ・出張申請書(前渡金・立替払・外国送金等)のフォーマット統一等 (2)制度変更 ・出張見積の手続簡素化、便宜供与の省内手続簡素化、局総務課の決裁不要に (3)業務改善 ・局内発注にSharePoint、各課総括内のタスク管理にOneNote等、ツールを活用 ・Skype会議奨励、ペーパーレスの徹底、クリスマスレター廃止・電子化等 (4)スキルup ・局内定例ランチ会:管理職による成功・失敗体験ランチ会や勉強会を定例開催 ・管理職が1on1ミーティング等を通じ室員1人1人にプロジェクトを配分等</p> <p><b>【取組の成果】</b> 業務改善T・総括係長会議によって、定例的にコミュニケーションを行うことで、業務改善等の検討が加速度的に進んだだけでなく、課室横断的なコミュニケーションが生まれ、通常業務においてもプラスの効果。ロジ業務に係る局内若手の負担は圧倒的に低下し、若手のモチベーションも向上。</p>			
			
<b>【局長×総括係長の懇親会】</b>		<b>【業務改善チーム】</b>	
<b>講評</b>			
<p>出張ロジ改善は、総務課がイニシアチブを取り役割の明確化を図った業務再分配の模範的取組であり評価できる。業務改善と同時に職場満足度も向上しており、様々なコミュニケーションツール・チームウェアを積極的に活用している点もよい。</p>			